お施主さま用

オープンウィンフォールディング

取扱い説明書

ご使用にあたって

●この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目　次

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。
「オープンウィンフォールディング」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。もし、この取扱い説明書にしたがわず乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「オープンウィンフォールディング」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2.この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。
3.商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	0120-4134-33

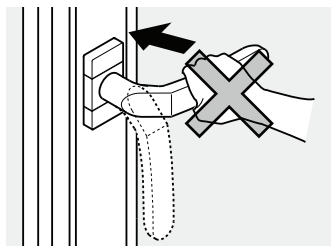
警告用語の種類と意味

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意　味
⚠注　意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お　願　い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

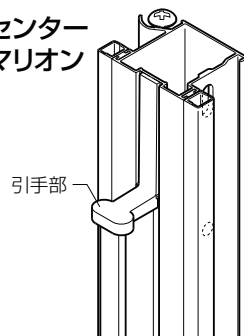
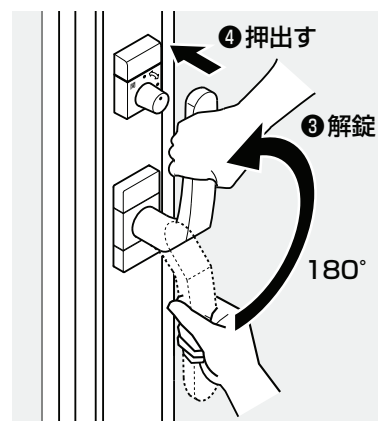
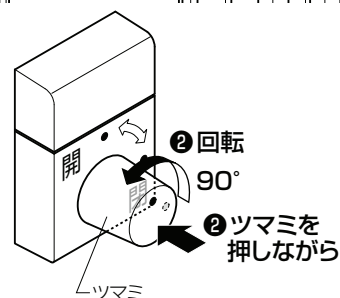
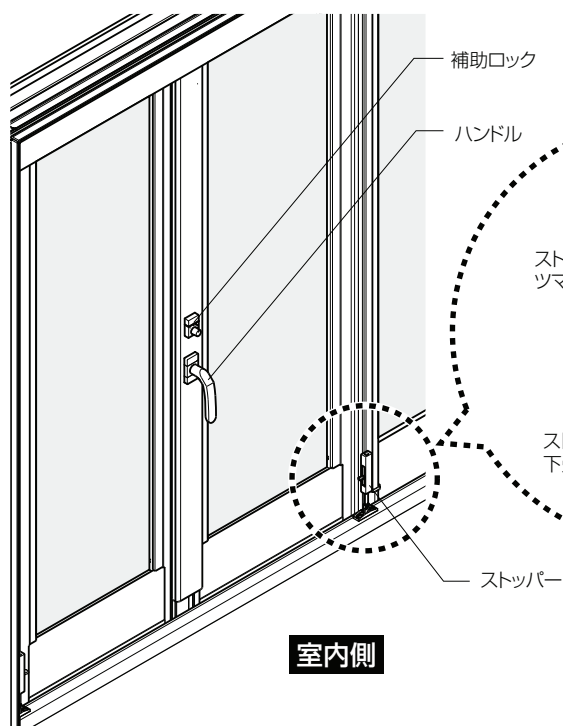
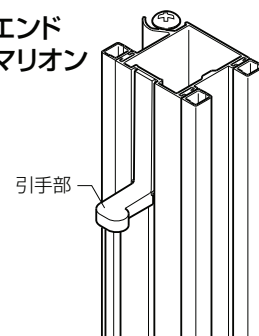
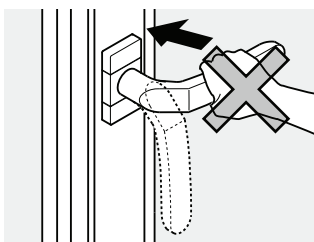
⚠ 注　意

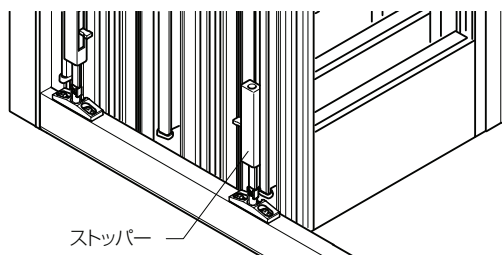
●障子を開けるときには、ハンドルを180°回転させてから、障子を押出してください。ハンドルを90°の位置で押出すとガラスの破損によりケガのおそれがあります。

お願い

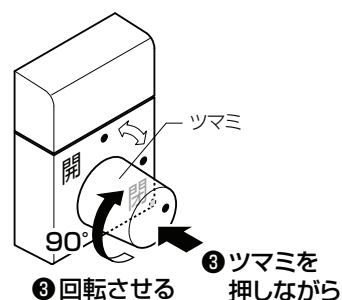
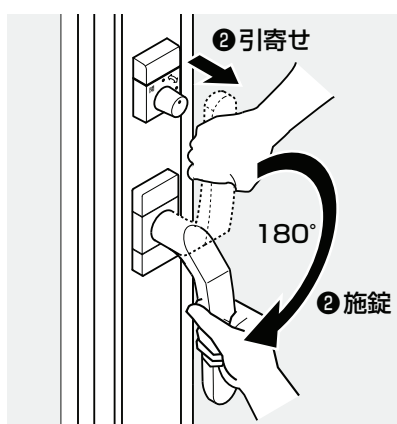
●風の強いときは、必ず障子を閉めて施錠してください。施錠しないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損や思わぬケガにつながるおそれがあります。

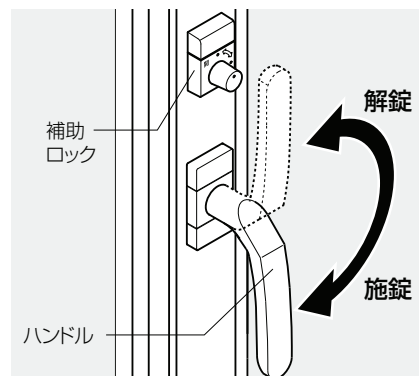
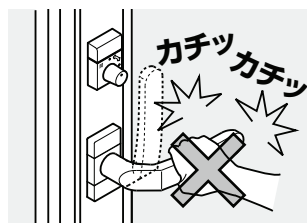
操作方法

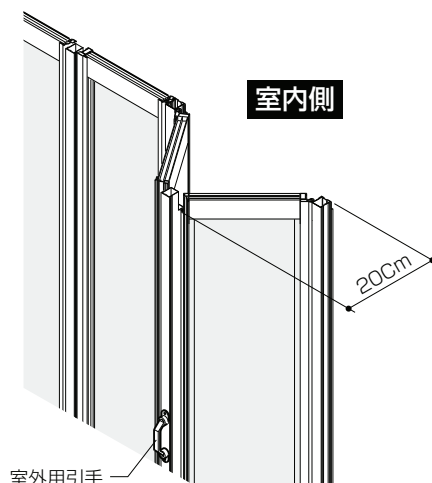
1 室内側から障子を開ける

①室内側からの障子を開ける場合には、障子中央部のストッパーのツマミを上げます。
②補助ロックのツマミを押しながら開側へ90°回転させます。
※補助ロックのツマミが閉のときはハンドルの解錠操作ができませんのでご注意ください。
③ハンドルを反時計回りに180°回転し、解錠させます。
④ハンドルを20cmほど外へ押出してからマリオン引手部を持ってスライドさせ、全開にしてください。
⑤障子を全開にしたらストッパーのツマミを下げて固定してください。

⚠ 注　意

●障子を開けるときには、ハンドルを180°回転させてから、障子を押出してください。ハンドルを90°の位置で押出すとガラスの破損によりケガのおそれがあります。

障子操作時のお願い

※障子を開けたときは、必ず障子ストッパーをかけてご使用ください。障子ストッパーで固定しても障子にもたれかかると障子が動きますのでご注意ください。

2 室内側から障子を閉める

①ストッパーのツマミを、上げてから引手部を持って障子を閉めます。
②障子を室内側へ引寄せた状態で、ハンドルを時計回りに180°回転させ施錠します。
③補助ロックのツマミを押しながら閉側へ90°回転させるとハンドルはロック状態になります。
④中央部のストッパーのツマミを下げて固定してください。
※障子中央部ストッパー・補助ロック・ハンドルについては「**1.室内側から障子を開ける**」をご覧ください。

障子操作時のお願い

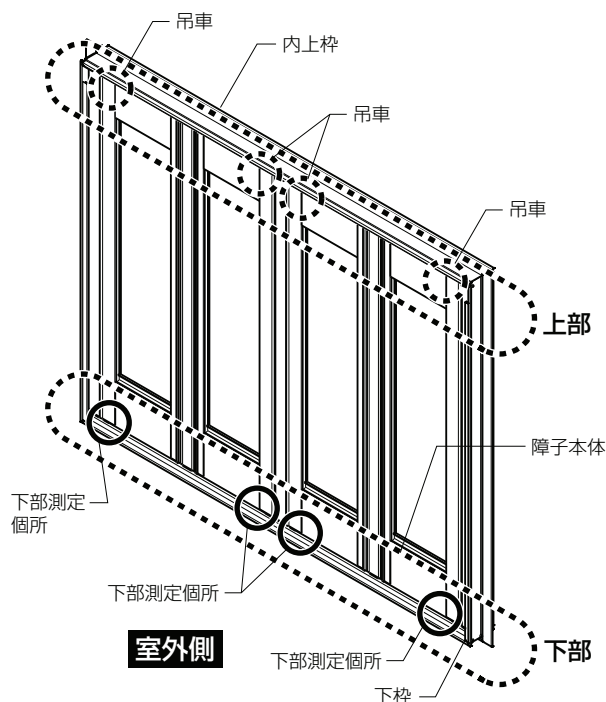
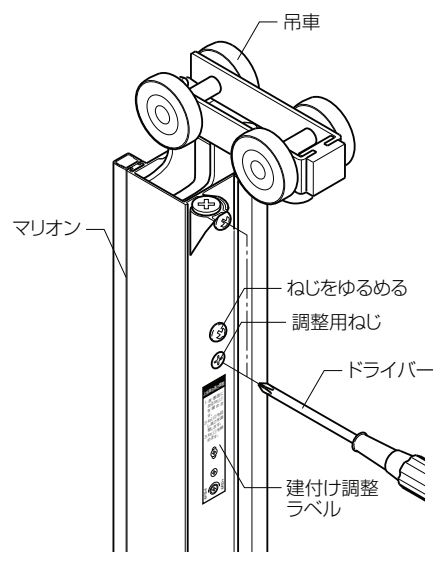
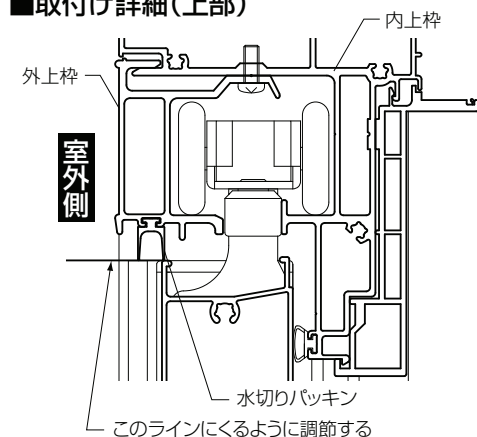
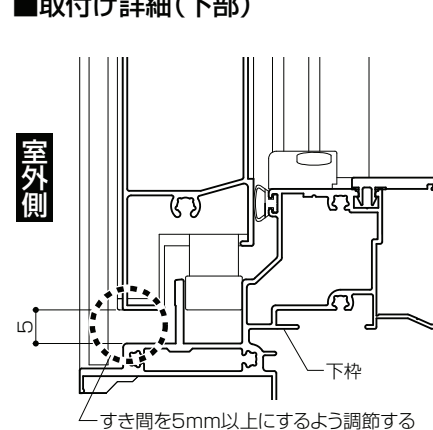
※障子を閉めたときは、必ずハンドルを操作し施錠してください。施錠しないと障子が急激な開閉で衝撃を受け商品の破損や思わぬケガにつながるおそれがあります。
※ハンドルを操作するときは、必ず障子を室内側へ引寄せてから操作してください。施錠機構が変形し開閉ができなくなることがあります。

3 室外側から開ける(別売り部品の引手を使って障子を開ける場合)

●室内からハンドルを操作して解錠し、ハンドルを20cm程外に押出してから室外側から室外用引手をもって障子をスライドさせて全開にしてください。全開にしたらストッパーを掛けてご使用ください。
※室外用引手には施錠機構はありませんので、室外から障子を施錠することはできません。

障子の建付け調整について

1 障子・高さ調整方法（建付け調整ラベルを参照してください）

■障子の建付け調整のお願い

※ご使用中に障子が下がって下枠と障子がこすれたり、異音などが発生することがあります。
お手入れのときなどに取付け詳細図（下部）のすき間が確保されているか点検していただき、下枠と障子のすき間が5mm以下の場合は、下記手順や「上吊車の高さ調整ラベル」にしたがい障子の建付け調整をしてください。

①はじめにマリオンを固定している長穴部分のねじ（両側2個所）をゆるめます。
②調整ねじを回して高さ調整を行ってください。調整用ねじが回らない場合はねじ①とねじ②の間のねじ（両側2個所）もゆるめます。
・上に上げる場合は、調整用ねじを右側（時計回り）に回します。
・下に下げる場合は、調整用ねじを左側（反時計回り）に回します。
③調整が終わりましたら、ゆるめたねじを締めて、固定してください。

お手入れ方法

1 商品の点検

■アルミ部分

●定期点検（年一回程度）に、ねじ・ボルト類のゆるみを点検し、締直してください。
締直してもガタつく場合は、腐食のおそれがありますので、お買い求めの工務店・販売店、又はLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

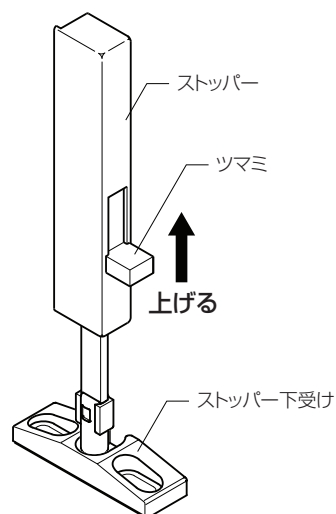
2 商品のお手入れ

●長時間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

■お手入れのご注意

●汚れは、柔らかい布、スポンジなどで水洗いにより、洗い落としてください。金属タワシなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもとになりますので、使用しないでください。
●水洗いで取れない汚れなどは、食器用中性洗剤で洗い落としてください。
●有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗浄剤やアルカリ性洗剤は、表面を侵し腐食のもととなりますので、使用しないでください。

■下枠レールのお手入れ

●下枠のレール内の清掃を行う場合には、障子吊元側にあるストッパー（下1個所にあります）のツマミを動かして固定を解除してください。吊元側のレール部分の清掃が行えます。
※必ず清掃が終わりましたら障子を全閉にして、施錠した状態にして、ストッパーの固定を行ってください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご相談ください。

■ 対象商品　サッシ･ドア商品

■ 保証期間　施工者よりの引き渡し日(注1･注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)･分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容　取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項　保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)

②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ･ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合

④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合

⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温･低温･多湿による不具合など)

⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)

⑧天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合

⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合

⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント･錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷･破損などの不具合)

⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合

⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

＊保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

＊本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにお問い合わせください。

2012年2月

LIXIL
Link to Good Living

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、
豊かで快適な住生活の未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

LIXIL

TOSTEM

オープンウィンフォールディング　取扱い説明書

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

http://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから
ご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. **0120-126-001**　FAX.**03-3638-8447**

外壁材に関する商品相談は‥‥旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. **0120-4134-33**　FAX.**0120-4134-36**

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号	MAK-366D	事業所コード	LM18	2012.10.1 発行